

大学入試合格判定最適化サービス

◆対象

大学入試課・企画課・
学長室・理事会など
大学入試に関する
大学関係者



◆経営課題

大学入試において定員枠に収まるような
適切な合格判定をしたい

(入学金・学費4年間で約500万円×20学生＝約1億円の機会損失)

特許出願中

特長 1

入学してくれる可能性が高い受験者がわかる

特長 2

合格ボーダーラインごとの入学者数・入学者歩留率を推定

特長 3

推定した入学者数・入学者歩留率より最適な合格ボーダーラインを判定

◆メリット

大学合格判定者における入学者歩留率の最適化
学納金等の安定確保により大学財務安定化

「大学入試合格判定最適化サービス」とは？

文部科学省から私立大学の定員充足率の基準が引き下げが進む中、大学ではより精緻な合格判定ボーダーラインを策定し、当初の計画に近い入学者数を確保することが必要となっています。

大学内外に存在する様々なデータから入学してくれる可能性が高い受験生を判定し、合格ボーダーライン毎の入学者数・入学者歩留率を推定することで、入学定員枠に最適な合格ボーダーラインを決定することが可能となります。

結果として、大学合格判定者における入学者歩留率の最適化が可能となります。

大学入試合格判定最適化サービスの流れ

Step1 入試合格判定に関連する情報整備・コンサルティング



Step2 過去の入試合格判定の傾向把握分析

データ受領

集計

分析

過去を含めた大学の入試・合格判定状況整理・集計・分析し、適用する範囲等を選定

Step3 入試合格判定最適化ソリューション構築

モデル作成

指標化

合格判定の要因となる変数を設定。機械学習・AI・多変量解析等にてモデルを作成
※特定の条件下及び範囲での想定

Step4 入学定員枠に最適な合格ボーダーラインを判定

A：合格候補者数・得点を指定したら
予測入学者数を推定算出

XX学部 YY学科	合格候補者数 (順位)	得点	予測入学者数
ex.	150位	170点	27.4人

B：入学定員枠に合わせた
予測入学者数から
合格候補者数・得点を推定算出

XX学部 YY学科	合格候補者数 (順位)	得点	予測入学者数	入学定員 枠数
ex.	175位	168点	35人	

株式会社インテージテクノスフィア

〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3番地 インテージ秋葉原ビル

Eメール: itsp-inc@intage.co.jp

www.intage-technosphere.co.jp